

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式					
M314Y101		プログラミング (Programing)					臨床医工学コース専門分野		対面					
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態						
必修	2	1	医学部先進医療科学科	前期	木3	日本語		単独						
担当教員	氏名 池内 秀隆													
	E-mail hikeuchi@oita-u.ac.jp 内線 5193													
授業の概要	情報技術とプログラミングの基礎を学び、基本的なプログラムを組める能力を養成する。また、コンピュータによる実習を通して情報機器の操作を行い、これらの理解を深める。現在使用されている代表的なプログラミング言語を例に演習を行い、情報処理の基礎的技術を養う。													
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1	情報の表現やオペレーティングシステムなど、コンピュータの基礎について説明できる。							○						
目標2	ネットワークと情報セキュリティについて、基本的な事項を説明できる。							○						
目標3	プログラミング言語を用いて、基本的なプログラムを組むことができる。							○		○				
目標4	プログラムの構造を理解し、関数や配列を用いた実用的なプログラムを解釈できる。							○		○				
目標5														
目標6														
目標7														
目標8														
目標9														
目標10														
各DPへの関連度(計10)								7		3				
授業の内容														
1	コンピュータとシステム, 情報の表現													
2	ハードウェアとソフトウェア													
3	ネットワークと情報セキュリティ													
4	プログラミング言語の種類と特徴(生体情報の取得とA/D変換)													
5	変数と型													
6	繰り返し文													
7	「変数と型」, 「繰り返し文」に関する演習(フィードバック・フィードフォワード制御を行う関数)													
8	条件判断文													
9	「条件判断文」に関する演習(システム・情報処理実習)													
10	関数													
11	「関数」に関する演習													
12	配列とファイル入出力													
13	「配列とファイル入出力」の関する演習													
14	オブジェクト指向													
15	コンピュータプログラミングと実社会への応用													
ラーニング目標	A:知識の定着・確認	○	A:演習は各自で行い,解説を聞いて修正する。				工 夫 の 他 の							
	B:意見の表現・交換		:演習に関する質問や意見交換を行う。											
	C:応用志向													
	D:知識の活用・創造	○												
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修	テキストを事前に読んでおく(20h)。												
	事後学修	内容の復習及び演習の実施(40h)。												
	想定時間合計	60												
教科書	オリジナルのテキストを配布する。													
参考書	実践力を身につける Pythonの教科書, クジラ飛行机, マイナビ出版, 2016年, ISBN: 978-4-8399-6024-7													

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	定期試験		80%	○	○	○	○						
	演習		20%			○	○						
注意事項													
備考													
リンク													
			URL										